

**糖尿病患者さんへ**  
**- ご協力をお願いいたします -**

医師主導型臨床研究

**「糖尿病神経障害の診断における簡易型神経伝導速度装置  
DPN チェックの有用性の検討」について**

**1. 医師主導型臨床研究とは？**

医師主導型臨床研究とは、製薬会社などが新薬の承認を得るために行う「治験」とは異なり、実際の診療を行っている医師が、医学的に重要で必要であると判断した研究を立案し、計画を立てて行うものです。

**2. 「糖尿病神経障害の診断における簡易型神経伝導速度装置 DPN チェックの有用性の検討」について**

糖尿病神経障害は糖尿病の比較的初期から出現する合併症の一つであり、その大半は無症状で、進行すると足病変や重度の起立性低血圧、下肢筋力低下・位置覚低下による不安定歩行などの原因となります。神経障害の進行度の客観的な評価方法として神経伝導検査が有用であり、近年簡易型神経伝導速度装置 DPN チェックが発売され、短時間で簡便にベッドサイドや診察室での検査が可能となりました。

靴下を脱いでベッド上に寝た状態で足関節に電極をあて腓腹神経に刺激を与えて反応をみる検査で、検査時間は1-2分です。

本研究では本検査法を用いて実際の入院・外来通院中の糖尿病患者さんの末梢神経障害の定量的評価を行い、臨床データとの関連についての検討を行うことを目的としています。研究結果は、よりよい糖尿病治療を提供するための資料となり、今後の糖尿病治療の発展に役立てられます。

本研究では通常の診療での合併症検査の一環として本検査法で末梢神経障害の評価を行います。また、診療で得られた血液データや、その他の臨床データを利用させていただきます。

### 3. プライバシー保護について

この研究の結果は、医学学会での発表や、学術雑誌に論文として公表する可能性があります。いずれの場合も、公表する結果は統計的な処理が行われ、個人名や個人を特定できるような情報は一切公表されることはありません。

### 4. 費用負担について

保険診療内での検査となります。

研究に参加できるかどうかはあなたの自由意志で決めることができます。また、研究の参加に同意した後でも、いつでも同意を撤回することができます。研究の参加をやめたことにより、通常の診療で不利益を受けることは一切ありませんので、ご安心ください。

その他、わからないこと、知りたいことがありましたら主治医にお問い合わせください。

<問い合わせ先>

日本赤十字社医療センター 糖尿病内分泌科

電話番号 03-3400-1311 (代表)

担当：布施 友紀恵